

重要 福島県南相馬市へ義援金を届けました

(平成 24 年 4 月 19 日 午前 10 時 10 分更新)

過去に南相馬市へ直接出向いて義援金を届けた様子を紹介しています。

■5 月 15 日 (日曜)、南相馬市へ義援金 1 億円が届けられました

南相馬市義援金募集実行委員会の代表団 (杉並区商店会連合会会長・東京商工会議所杉並支部会長・杉並産業協会会長・杉並区町会連合会副会長) が田中良杉並区長とともに、これまでに実行委員会に託された義援金から 1 億円 (目録) を桜井勝延 (さくらいかつ) のぶ 南相馬市長に届けました。南相馬市長から、以下のとおり御礼のコメントをいただきました。

このたび、杉並区民の皆様からの心温まる多額な義援金を賜り、厚く感謝を申し上げます。
杉並区と本市は平成 19 年 2 月に災害時相互援助に関する協定を締結しましたが、それ以前から少年野球などを通して友好な関係を続け、今では活発に交流が行われるようになりました。これが今後とも続くことを願ってやみません。
今回の義援金は、杉並区民の意志を十分に踏まえ、子どもたちをはじめ市民が将来に夢と希望が持てるよう役立ててまいりたいと考えております。
本当にありがとうございました。



義援金 1 億円の日録を手渡す (5 月 15 日)

■7 月 23 日 (土曜)、南相馬市へさらに 5 千万円が届けられました

5 月 15 日 (日曜) の 1 億円に続いて、7 月 23 日 (土曜) に田中良区長と藤本なおや区議会議長が実行委員会から託された 5 千万円を届けました。

義援金を受け取った村田崇南相馬市副市長からは、以下のとおり御礼のコメントをいただきました。

子供たちのために活用していくように、基金の設置など活用方法を検討していきたい。震災遺児への支援や生涯学習センターの設立など、杉並区の皆様の気持ちに応え、形に残るようなものにしていきたい。



義援金 5 千万円の日録を手渡す (7 月 23 日)

■12月16日（金曜）、南相馬市へさらに3千万円が届けられました

12月16日（金曜）に実行委員会を代表して、杉並区町会連合会の今村会長、阿部副会長、藤枝副会長、横倉副会長の4名の手により、南相馬市長に直接3千万円（目録）が届けられました。南相馬市に届けた義援金は総額で1億8千万円になりました。

贈呈の際、今村会長から、震災1年後の来年3月11日には、区との共催による復興支援事業として、式典及び区内18駅での駅頭募金を行うなど、引き続き3月末まで義援金の募集に取り組んでいきたいとの挨拶がありました。

義援金を受け取った南相馬市長から、以下のコメントをいただきました。

南相馬市では、皆さまからの義援金を財源とした「南相馬市みらい夢基金」の設置を予定しており、現在開会中の市議会12月定例会に基金条例案を提出しています。この基金を通して、義援金を次世代の育成や地域の再生・活性化事業等に有効活用してまいります。杉並区民の皆さまのあたたかいご支援に、心から感謝申し上げます。



義援金3千万円の日録を手渡す（12月16日）

■平成24年4月16日（月曜）、南相馬市へさらに3千300万円とマイクロバスが届けられました

4月16日（月曜）午後、実行委員会を代表して、杉並区町会連合会の今村会長、杉並区商店会連合会の徳田会長、東京商工会議所杉並支部の歌川会長と小竹顧問、杉並区産業協会の井上会長が田中良区長とともに南相馬市を訪れ、桜井勝延南相馬市長に直接、3327万1375円（目録）を届けました。また、義援金とともに杉並区で使用していたマイクロバス（乗車定員25人）を南相馬市へ贈呈しました。このマイクロバスは、杉並区での車両の買い替えにあたり、南相馬市から旧車両の贈与依頼があり、無償で贈呈することとなりました。

南相馬市長から、以下のコメントをいただきました。

杉並区民の皆様のあたたかいご支援に心から感謝申し上げます。いただいた義援金は、次世代の育成や地域コミュニティの再生など市民が将来に夢が希望を抱くことができる事業に有効に活用してまいります。



義援金3千万円の日録等を手渡す（4月16日）